

小規模多機能居宅介護 宍道の里

事業所名称…社会福祉法人 縁むすび福祉会 小規模多機能型居宅介護 宍道の里

サービス種類…地域密着型小規模多機能型居宅介護

会議開催日… 令和7年4月24日(木)

開催場所…小規模多機能型居宅介護 宍道の里

出席者

事業所	2 名	事業所	0 名
利用者家族	0 名	地域代表者	0 名
松江市職員	1 名	地域包括支援センター	0 名
知見を有する者	1 名	その他(理事)	0 名

議事

利用状況

登録者数	8 名	(男性 3 名 女性 5 名)
要支援1	0 名	要介護1 1 名 要介護3 0 名 要介護5 0 名
要支援2	3 名	要介護2 3 名 要介護4 1 名 申請中 0 名
平均要介護度	1.75	平均年齢 77.3 歳

曜日別利用者数

	月	火	水	木	金	土	日
通い	1	4	1	3	2	2	0
訪問	2	1	2	3	1	3	3
泊り	2	2	2	1	1	1	1

活動状況報告

- ・カラオケ

・季節のぬり絵

・カレンダー作成

・脳トレ(パズル、プリントを使う)

・パタカラ体操

・トランプ

・ゲーム(ボール転がし、魚釣り、玉入れ)

・いちご畑のリース作り

・びよよ〜んカエル作り

・チューリップリースと壁飾り作り

・こいのぼりのフレームとリース作り

・春の花散らしの壁飾り作り

(1)感染症対策として、マスクの装着を行っています。

季節感を感じて頂けるようにレクリエーション中心に作品が出来上がっています。
お口の体操(パタカラ体操)、ゲーム、リース作りなど身体を動かしたり
作品を作成したりして、楽しめました。

事故・ヒヤリ報告

ヒヤリハット： 朝から不穏であった。11時ごろお部屋におられたが、泣きながらホールへ出てこられる。「一人で山に出る、ついてこないで」と興奮し、出ていこうとされるため、上着を着てもらい職員は後ろからついて歩く。職員は携帯を所持し、待機職員へ連絡を取り合う。坂を下りて行かれるため、待機職員へ迎えを頼む。坂を下り100メートルほどのところで、車に乗っていただき施設へ帰る。

対策： ご本人の気持ちを傾聴し、無理に引き止めたりせず、気持ちに寄り添い、出掛けたいのであれば一緒についていき、待機職員にすぐ連絡がつくように、必ず携帯を持ち歩く。

事故報告： 夜中3時ごろ居室より、ドンと鈍い音がしたため、駆け付けると、ポータブルトイレの右側手すりにつかまり左ひざをついておられる。「トイレに行こうとして転んだ。痛くはない」と言われたが、確認すると少しの痛みはあったが徐々に消失する。靴を履いておられず、靴下だけであり、また真っ暗だったため滑られたものと思われる。

対策： 居室は豆球を必ずつけ、トイレに行かれる際は必ず靴を履いていただくように伝える。

その他

意見交換

知見を有する者 「介護の職員が不足しているということですが、こちらの施設では外国の方で介護士の方はおられますか。」

施設長 「現在のところは、外国の方に来ていただいております。
理事長の考えとしては、いつになるかは分かりませんが、外国からの受け入れをしたいとの考えを持っております。」

松江市職員 「外国人材は施設等を中心に増えてきていると感じていました。
今年度から訪問介護の方で、外国人材で従事していただくことが可能となりました。
ですが、訪問介護ですと1対1での対応ですのでコミュニケーションとして難しいとされており、今までは訪問介護は対象となっておりませんでした。今年度から受入可能となりました。」

施設長 「数か月前にGH大社に派遣として外国の方に来ていただいております。
その方たちは、何年も日本で働いておられ、日本語も話されていたのでご利用者ともうまくコミュニケーションも取れており、良かったと思います。
施設の方での受け入れとして、新しく外国からの受け入れとなると、職員体制も充実している訳ではないため、すぐには難しいと思います。
特に小規模多機能ですと、ご利用者やご家族との直接的なコミュニケーションが必須になるため、とても難しいのではないかと思います。」

